

皆さん！こんにちは！もう梅雨の時期ですね。

こんなに雨が降っていると、全然外で遊べないし、楽しくない…いいえ…！！そんなことはありません！  
本があります！明るい本を読んで、梅雨でじめじめした気持ちもスッキリ！

新体制となった図書館で皆さんをお待ちしています。

本選びもしっかりとサポートしていきますのでぜひ図書館へ！

(担当：3 - B 土屋陽花)



## 令和4年度前期図書委員を紹介しま



	A	A	B	B	C	C
1	吉村 義人	西川 瑠夏	有吉 禄	迫田 舞華	佐藤 優生	森本 晴香
2	岡田 澄空	中尾 百香	西野 靖崇	山田 千結		
3	永瀬 伊織	村田 優衣	大木 拓朗	土屋 陽花	浜井 陸	石本 紗椰



### 私と読書 関野 副校長先生



この仕事についてから「数学」に関する本を読むようにしました。生徒の皆さんが私の授業で退屈しないように、少しでも数学に興味をもって貰えるようにと、数学史を中心に数の成り立ちなどを読むようにしました。さて、皆さんはなぜ「ゼロ」という数ができたのか知っていますか。また、今皆さんが使っている「1」や「10」といった数はいつ頃から使われているのか知っていますか。えっ？と思った人は調べてみてください。

そんな私が今回紹介するのは向井湘吾さんの「お任せ！数学屋さん」という本です。前に勤めていた学校の図書館で「数学屋さん」という文字に反応して本を取ってみると、表紙にはなんと中学生らしい男女の絵が描いてありました。「数学屋なのに学生」私の頭の中をクエスチョンマークがぐるぐる回っていました。これは読まないといけないと思い、通勤時間を使って読みました。主人公は中学二年生の「天野遥」さん。そして、「特技は数学。将来の夢は数学で世界を救うこと」という転校生の「神之内宙」くん。この2人が学級内に「数学屋」を設立し様々な問題(困りごと)を解決していきます。そんな数学の天才宙くんが唯一解決できない問題に出くわします。

おっと、これを言ってしまうと面白くないですね。この本は東原中学校の図書館にもあります。ぜひ読んでみてください。そして、なんと続巻が2冊もありました。

私も続きを読みたいと思います。

(担当：3 - A 村田優衣)





## 『自分を操る 超集中力』 DaiGo 159 だ

中間考査が終わり、気持ちが落ち着いてきたと思います。ですが、6月27日から期末考査がスタートします。9教科に増え、勉強量も増えてしまうので、1ヶ月だけしかないと思うと不安ではないでしょうか。そんな人のために集中力をコントロールする本をお勧めします。この本には、高い集中力を維持するための方法やコツがいろいろ書かれて



## 『自分はバカかもしれないと思った時に読む本』 竹内 薫 379 た

「バカな子がいるのではない。バカは作られるのだ」

この本を読めばバカをこじらせないための思考法がすべて分かります。

### 私と読書 学校司書 岡部先生

今年度、東原中に赴任しました学校司書の岡部容子です。どうぞよろしくお願いいたします。

私が図書館司書になったきっかけは、母の言葉からと思っています。幼いころ母はたくさんの本を読んでくれていました。「こじかのバンビ」「はなのすきなうし」「ちいさいおうち」「ちびくろサンボ」などなど…自然と本好きになった私は通学や通勤の際も文庫本を持ち歩いて読んでいました。

「ナルニア国物語」「三毛猫ホームズシリーズ」「ハリーポッターシリーズ」「永井路子の歴史もの」などいろいろです。そんな私に母は、ずーっと本に関わる仕事が出来たらいいねといつも言っていました。学生時代に図書館司書の資格を取りましたが、すぐに資格を活かした仕事はしませんでした…今は活かされています。

ジャンルを問わず本を読んでいます。最近ちょっとおもしろいなあと思った本を紹介します。『ロボット・イン・ザ・ガーデン』です。近未来のイギリスの南部に住む弁護士の妻エイミーと無職の夫ベン、夫婦の庭にある朝ロボットが迷い込み座っていました。小さくてオンボロで汚れている旧型ロボット…タング。



ベンはお母さん達の危機をロボットへの興味、好奇心で乗り越える。ベンの気持ちのオチ、タングが